

計画事業番号	00878	事務事業名	特定不妊治療助成事業	担当部署	保健福祉部健康推進課	電話	1212
--------	-------	-------	------------	------	------------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等				
事務事業開始年度	平成28年度		個別計画等	まち・ひと・しごと創生総合戦略における重点戦略事業			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 6 章) にぎわい・活力のあるまち	
	(第 1 節) 地方創生の推進	
	(施策 1) 妊娠・出産・子育て環境の充実	
2 対象	北海道特定不妊治療費助成決定者	
3 目的と内容	まち・ひと・しごと創生総合戦略における重点戦略のH28年度からの新規事業 体外受精、顕微授精以外の治療法によって妊娠の見込みがないか、極めて少ないと医師に診断された法律上の婚姻関係にある夫婦で、北海道の特定不妊治療費助成の決定を受けた方を対象に不妊治療に要する費用を助成する(北海道からの助成費用を差し引いた自己負担分についての助成)。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	特定不妊治療費の助成
	29年度	特定不妊治療費の助成

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
特定不妊治療費の助成	申請 実22人 延28件(うち対象外 2件)	特定不妊治療費助成	特定不妊治療費助成	特定不妊治療費助成

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	—	平成28年度からの新規事業	
1次評価	現状継続	若い世代への結婚・出産・子育ての希望をかなえるための施策および当市の出生率の向上につながる事業の一つとして必要である。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			837		2,018		4,523		4,523	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	837		2,018		4,523		4,523	
	① 合計	837		2,018		4,523		4,523		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	0	450	0	450	0	450	0	450	
総事業費①+④			1,287		2,468		4,973		4,973	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①助成件数	目標値	件	—	30	30	30
		実績値		26			
	②	目標値					
		実績値					
③	目標値						
	実績値						
④	目標値						
	実績値						
成果指標	① 特定不妊治療後妊娠した割合 【妊娠届出者数(7人)/助成者数(22人)】	目標値	%	—	—	—	—
		実績値		31.8			
	② 出生数 【指標の定義(算式等)】	目標値	人	350	370	390	400
		実績値		333			
③	目標値						
	実績値						

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	出産・子育ての希望をかなえるための経済的負担の軽減、当市の出生率の向上につながる事業として貢献度が高い。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	北海道の助成制度の上乗せ事業として、保健所や不妊治療を実施している医療機関へ周知を図っており、対象者の発掘に繋がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	対象者が制度利用につながるよう、周知徹底を行う。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	効率的に事務を行い、必要最小限の予算で実施している。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---